



株主の皆様へ

代表取締役社長
多田野 宏一

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに2017年度中間期(2017年4月1日から2017年9月30日まで)のご報告をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、個人消費が堅調に推移、企業収益の改善を背景に設備投資が緩やかに回復、生産や輸出は持ち直し、景気は着実に回復しております。欧州経済は緩やかな回復、米国経済は回復持続、新興国は総じて持ち直しております。一方で、中国経済による影響、原油・資源価格動向、北朝鮮問題等の地政学上のリスクに加え、米国の政策運営の不安定さもあり、不透明な状況が続いております。

私どもの業界は、日本では、復旧復興・防災減災・インフラ老朽化対策・民間建設投資等により稼働は堅調なもの、オペレーター不足に加え、中古価格の低迷、新モデルに対する様子見もあって、需要は減少しました。海外では、オーストラリア・ロシアに回復の動きは見られるものの、全体として需要は減少しました。

当中間期は、売上高は、日本向け・海外向けが共に減少しました。売上減少に伴う売上総利益の低下により、中間期としては2期連続の減収減益となりましたが、営業利益率は10.3%を確保しました。なお、長期成長に向けた生産能力の拡大のため、本年11月に香西工場(高松市)の建設工事に着手しました。2019年度の稼働開始を目指し、総額で約210億円を投資予定です。

今後の経済見通しにつきましては、日本では、個人消費は底堅く推移し、生産や輸出は緩やかに回復、企業収益の改善に伴う設備投資は堅調に推移するなど、景気は緩やかな拡大が期待されます。海外では、緩やかな景気回復が期待される一方、中国経済による影響、北朝鮮問題等の地政学上のリスクに加え、米国の政策運営の不安定さもあり、引続き不透明な状況が懸念されます。

当社グループを取り巻く市場環境は、日本では、高稼働継続により建設用クレーンは増加、トラック駆け込み需要の反動により車両搭載型クレーン・高所作業車は減少を見込んでおります。海外は、原油・資源価格の回復による需要喚起も期待されるものの、総じて需要は減少を見込んでおります。なお、海外需要は、2012年をピークに減少を続けておりますが、需要サイクルの観点から2017年がボトムになるものと予想しております。

2017年度をスタートとする「中期経営計画(17-19)」は「『強い会社』に(赤い矢印に集中)」を基本方針として、3つの重点テーマ実現のために、9つの戦略に取り組んで参ります。

「強い会社」とは、いかなる外部環境にあろうとも、「利益を出す」・「人を育てる」を毎期継続することができる会社です。

当社グループでは、「市場・需要・為替(=青い矢印)」というコントロールできない環境の中で、事業に対する「自助努力(=赤い矢印)」に集中し、これに「投資(=黄色い矢印)」の成果を加えたものが、「業績(=黒い矢印)」と位置付けております。「中期経営計画(17-19)」では、「強い会社」になるために「赤い矢印」に集中することを基本方針としたものです。

- ・ 3つの重点テーマ
 - ① 更なるグローバル化(ONE TADANO、Wide & Deep)
 - ② 耐久性アップ(6つの鍵)
 - ③ 競争力強化(四拍子そろったメーカー)
- ・ 9つの戦略
 - ① 市場ポジションアップ
 - ② 商品力強化
 - ③ グローバル&フレキシブルものづくりへの取り組み
 - ④ 感動品質・感動サービスの提供
 - ⑤ ライフサイクル価値の向上
 - ⑥ ソリューションビジネスへの取り組み
 - ⑦ 収益力・資産効率のレベルアップ
 - ⑧ 成長基盤の確立
 - ⑨ グループ&グローバル経営基盤の強化

なお、2017年度は、「中期経営計画(17-19) 初年度への取り組み」・「赤い矢印」への集中と「黄色い矢印」への取り組み・「青い矢印」の変化への備えと競争激化への対応を推進して参ります。

また、当社グループは、「中期経営計画(17-19)」の最終年度の2019年8月29日に創業100周年を迎えます。

私たちがタダノグループは、「企業が社会や人との調和の中に生かされている存在」との認識のもと、地域社会・国際社会発展への貢献と地球環境の保全に役立つ事業活動を推進し、全てのステークホルダーの期待に応え、企業価値を最大化することで、「世界に、そして未来に誇れる企業」を目指します。

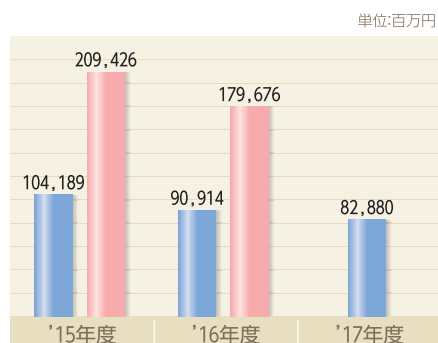
中間配当につきましては、1株13円とさせていただきますことに決定いたしました。株主の皆様には、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。
2017年12月

営業の経過及び成果

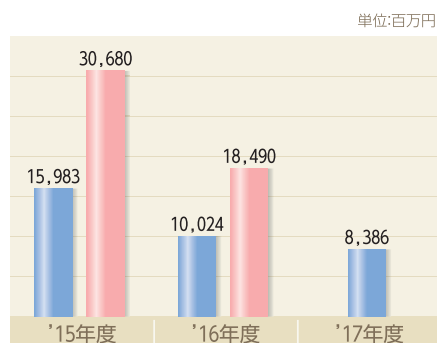
日本向け売上高は、建設用クレーンが減少、車両搭載型クレーンと高所作業車が増加し、478億9千5百万円(前年同期比96.3%)となりました。海外向け売上高は、需要減少のなか、新規顧客の開拓に注力したものの、349億8千4百万円(前年同期比85.0%)となりました。この結果、総売上高は828億8千万円(前年同期比91.2%)となりました。なお、海外売上高比率は42.2%となりました。

売上減少に伴う売上総利益の低下により、営業利益は85億4千8百万円(前年同期比84.7%)、営業利益率は10.3%(前年同期は11.1%)、経常利益は83億8千6百万円(前年同期比83.7%)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は59億6千9百万円(前年同期比85.6%)となりました。

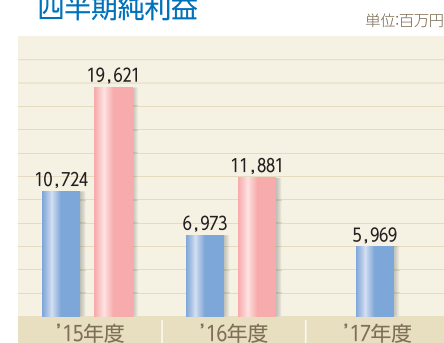
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



タダノグループの連結業績の概況

タダノグループの主要品目別売上高の推移

建設用クレーン

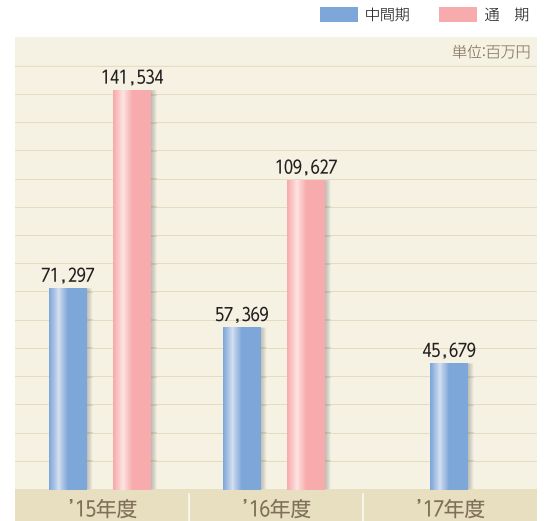
日本向け売上は、需要が減少し、競争が激化するなか、拡販に注力したものの、機種構成の変化等の影響もあり、181億6千万円（前年同期比81.0%）となりました。

海外向け売上は、需要減少のなか、新規顧客の開拓に注力したものの、275億1千9百万円（前年同期比78.8%）となりました。

この結果、建設用クレーンの売上高は456億7千9百万円（前年同期比79.6%）となりました。



オールテレーンクレーン
(建設用クレーン)



トラッククレーン
(建設用クレーン)



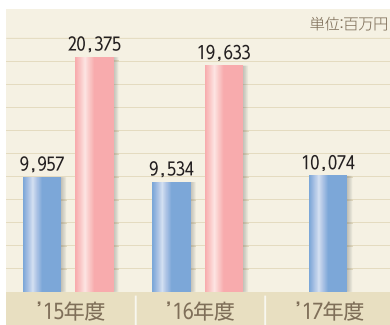
ラフテレーンクレーン
(建設用クレーン)

車両搭載型クレーン

日本向け売上は、トラック需要横ばいのなか、拡販に注力した結果、搭載率の上昇もあり、92億3千6百万円（前年同期比103.9%）となりました。

海外向け売上は、東南アジア・中東向けの販売に注力した結果、8億3千8百万円（前年同期比129.3%）となりました。

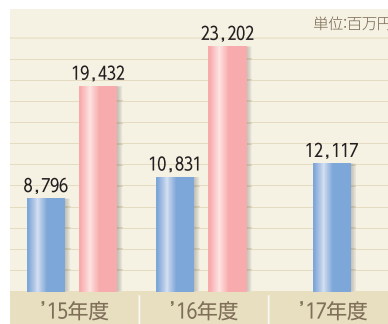
この結果、車両搭載型クレーンの売上高は100億7千4百万円（前年同期比105.7%）となりました。



カーゴクレーン
(車両搭載型クレーン)

高所作業車

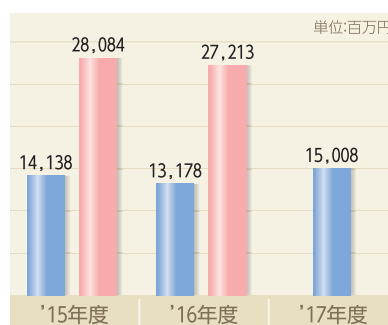
インフラ点検用途のニーズを背景に好調なレンタル業界に加え、通信業界の設備投資の拡大もあり、高所作業車の売上高は121億1千7百万円（前年同期比111.9%）となりました。



スーパーデッキ
(高所作業車)

その他

部品、修理、中古車等のその他の売上高は150億8百万円（前年同期比113.9%）となりました。



連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表

(前期)：2017年3月31日現在
(当四半期)：2017年9月30日現在

単位:百万円

科目	前期	当四半期	科目	前期	当四半期
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	177,965	188,334	流動負債	55,515	61,109
現金及び預金	68,745	81,660	支払手形及び買掛金	26,080	27,321
受取手形及び売掛金	47,149	40,408	電子記録債務	-	5,861
電子記録債権	1,568	3,050	短期借入金	15,448	14,676
商品及び製品	25,764	27,031	リース債務	216	239
仕掛品	20,263	21,831	未払法人税等	2,470	2,205
原材料及び貯蔵品	8,850	9,309	引当金	1,497	1,508
繰延税金資産	3,452	3,192	未払金	5,205	4,369
その他	2,357	2,152	未経過割賦販売利益	152	124
貸倒引当金	△ 186	△ 302	その他	4,444	4,800
固定資産	51,834	52,065	固定負債	31,734	31,864
有形固定資産	41,183	41,224	社債	10,000	10,000
建物及び構築物	12,483	12,462	長期借入金	11,237	11,289
機械装置及び運搬具	3,005	2,810	リース債務	333	439
土地	22,513	22,922	繰延税金負債	147	147
リース資産	492	620	再評価に係る繰延税金負債	2,109	2,109
建設仮勘定	979	716	退職給付に係る負債	7,299	7,261
その他	1,708	1,692	その他	607	616
無形固定資産	1,181	1,135	負債合計	87,250	92,973
投資その他の資産	9,469	9,705	(純資産の部)		
投資有価証券	6,190	6,576	株主資本	141,746	146,067
繰延税金資産	2,620	2,455	資本金	13,021	13,021
その他	1,666	1,680	資本剰余金	16,855	16,853
貸倒引当金	△ 1,008	△ 1,007	利益剰余金	114,507	118,830
			自己株式	△ 2,637	△ 2,637
			その他の包括利益累計額	318	814
			その他有価証券評価差額金	1,732	2,003
			土地再評価差額金	1,270	1,270
			為替換算調整勘定	△ 1,875	△ 1,715
			退職給付に係る調整累計額	△ 809	△ 744
			非支配株主持分	484	544
			純資産合計	142,549	147,426
資産合計	229,799	240,400	負債純資産合計	229,799	240,400

第2四半期連結損益計算書(累計)

(前四半期)：2016年4月1日から2016年9月30日まで
(当四半期)：2017年4月1日から2017年9月30日まで

単位:百万円

科目	前四半期	当四半期
売上高	90,914	82,880
売上原価	65,282	59,120
割賦販売利益繰延前売上総利益	25,631	23,759
未経過割賦販売利益戻入	154	67
未経過割賦販売利益繰入	60	39
売上総利益	25,726	23,786
販売費及び一般管理費	15,631	15,238
営業利益	10,094	8,548
営業外収益	309	192
営業外費用	379	354
経常利益	10,024	8,386
特別利益	1	33
特別損失	58	29
税金等調整前四半期純利益	9,966	8,391
法人税、住民税及び事業税	2,595	2,112
法人税等調整額	362	288
法人税等合計	2,957	2,400
四半期純利益	7,008	5,990
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,973	5,969

第2四半期連結 キャッシュ・フロー計算書(累計)

(前四半期)：2016年4月1日から2016年9月30日まで
(当四半期)：2017年4月1日から2017年9月30日まで

単位:百万円

科目	前四半期	当四半期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,580	17,079
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,508	△ 1,324
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	983	△ 2,771
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,728	△ 50
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 6,834	12,932
VI 現金及び現金同等物の期首残高	73,120	68,291
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	66,285	81,224

会社概要 (2017年9月30日現在)

概 要

商 号	株式会社タダノ TADANO LTD.
資 本 金	13,021,568,461円(発行済株式の総数 129,500,355株)
設 立	1948年8月24日
従 業 員 数	単独1,459名 連結3,340名
事 業 内 容	建設用クレーン、車両搭載型クレーン及び高所作業車等の製造販売
本 社	香川県高松市新田町甲34番地
工 場	高松工場(高松市)、志度工場(さぬき市)、 多度津工場(香川県多度津町)、千葉工場(千葉市)
研 究 所・試 験 場	技術研究所(高松市)、三本松試験場(東かがわ市)
支 店・営 業 所	10支店・23営業所
海 外 事 務 所	北京事務所、中東事務所

グループ会社

[国内]	[海外]
株式会社タダノアイメス	タダノ・ファウンGmbH [ドイツ]
株式会社タダノアイレック	タダノ・ファウン・シュタールバウGmbH [ドイツ]
株式会社タダノエステック	タダノ・ユーケーLtd. [イギリス]
株式会社タダノエンジニアリング	タダノ・フランスSAS [フランス]
株式会社タダノテクノ東日本	タダノ・アメリカCorp. [アメリカ]
株式会社タダノテクノ西日本	タダノ・マンティスCorp. [アメリカ]
太平機工株式会社	タダノ・アメリカ・ホールディングスInc. [アメリカ]
日通重機サービス株式会社	タダノ・パナマS.A. [パナマ]
株式会社タダノ教習センター	タダノ・ブラジル・エキバノスト・テ・エルヴァサノLtda. [ブラジル]
株式会社タダノ物流	多田野(北京)科貿有限公司 [中国]
株式会社タダノシステムズ	韓国多田野株式会社 [韓国]
株式会社タダノビジネスサポート	タダノ・アジアPte Ltd. [シンガポール]
	タダノ・タイランドCo.,Ltd. [タイ]
	タダノ・イタルタイCo.,Ltd. [タイ]
	タダノ・インディアPvt.Ltd. [インド]
	タダノ・オセアニアPty Ltd [オーストラリア]
	エーエムエル・イクイップメントPty Ltd [オーストラリア]
	北起多田野(北京)起重機有限公司 [中国] *
	台湾多田野股份有限公司 [台湾] *

注) *印は関連会社、他は全て連結子会社です。

役 員

代表取締役社長	多 田 野 宏	一 正 環
代表取締役副社長	鈴 木 山	陽 一
取締役・執行役員専務	奥 山	陽 一
取締役・執行役員常務	西 藤 康	陽 一
取 締 役	伊 藤 吉	陽 一
取 締 役	伊 藤 吉	陽 一
執行役員常務	飯 村 慎	一 幸
執行役員常務	高 橋 倉	六 一
執行役員常務	澤 田 憲	一 幸
執行役員	程 本 親	一 幸
執行役員	川 野 博	一 幸
執行役員	高 木 啓	一 幸
執行役員	多 田 野 有	一 幸
執行役員	池 浦 雅	一 幸
執行役員	林 徳 田 宏	一 幸
執行役員	五 味 幸 雄	一 幸
執行役員	官 野 耕 一	一 幸
執行役員	イ ン ゴ ・ シ ラ	一 幸
執行役員	合 田 洋 之	一 幸
常 勤 監 査 役	児 玉 義 人	一 幸
常 勤 監 査 役	北 井 村 明 彦	一 幸
常 勤 監 査 役	井 之 川 和 司	一 幸
監 査 役	三 宅 雄 一	一 幸

注) *印は、社外取締役及び社外監査役であります。



多度津工場 [香川県多度津町]
(カーゴクレーンの製造)

株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
基 準 日	定時株主総会については毎年3月31日 その他必要がある場合には、あらかじめ公告して定めます。
公 告 の 方 法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.tadano.co.jp/)に 掲載いたします。ただし、やむを得ない事由により電子公告による 公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
お 取 扱 窓 口	証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種 お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行って いただくこととなりますので、お取引の証券会社等へご連絡をお願いいた します。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記 のお取扱店にてお取扱いいたします。なお、支払明細の発行に関する お手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。
お 問 合 せ 先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 ☎0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
お 取 扱 店	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ^(※) (※)トラストラウジではお取扱できませんのでご了承ください。
未 払 配 当 金 の お 支 払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ^(※) みずほ銀行 本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウジではお取扱できませんのでご了承ください。

ホームページのお知らせ

ホームページにアクセスしていただきますと、
当社の各種情報をご覧いただけます。



<http://www.tadano.co.jp/>

